

決算説明資料

2024年3月期



Listed Company 4241

2024年5月
株式会社アテクト

2024年3月期(第55期) 業績総括

特別損失計上・業績予想修正について

2024年4月17日付けで報告しました通り、この度PIM事業において固定資産の減損による特別損失を計上いたしました。

また下半期の半導体資材事業の受注の減少やPIM事業の販売低調に加え、原材料費の高止まり等により、特に利益面において苦戦することとなり、通期連結業績予想の修正を行いました。

尚、当期の期末配当金につきましては、特別損失の計上により利益剰余金は減少いたしました。が、将来的な業績動向や株主の皆様への利益還元等を総合的に勘案し、予定通り1株当たり10円とさせていただくことといたしました。

【通期業績予想修正値】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,300	160	150	100	22円62銭
今回修正予想(B)	3,100	65	75	△250	△56円55銭
増減額(B-A)	△200	△95	△75	△350	
増減率(%)	△6.1	△59.4	△50.0	△350.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	2,961	176	193	158	35円96銭

全社連結業績

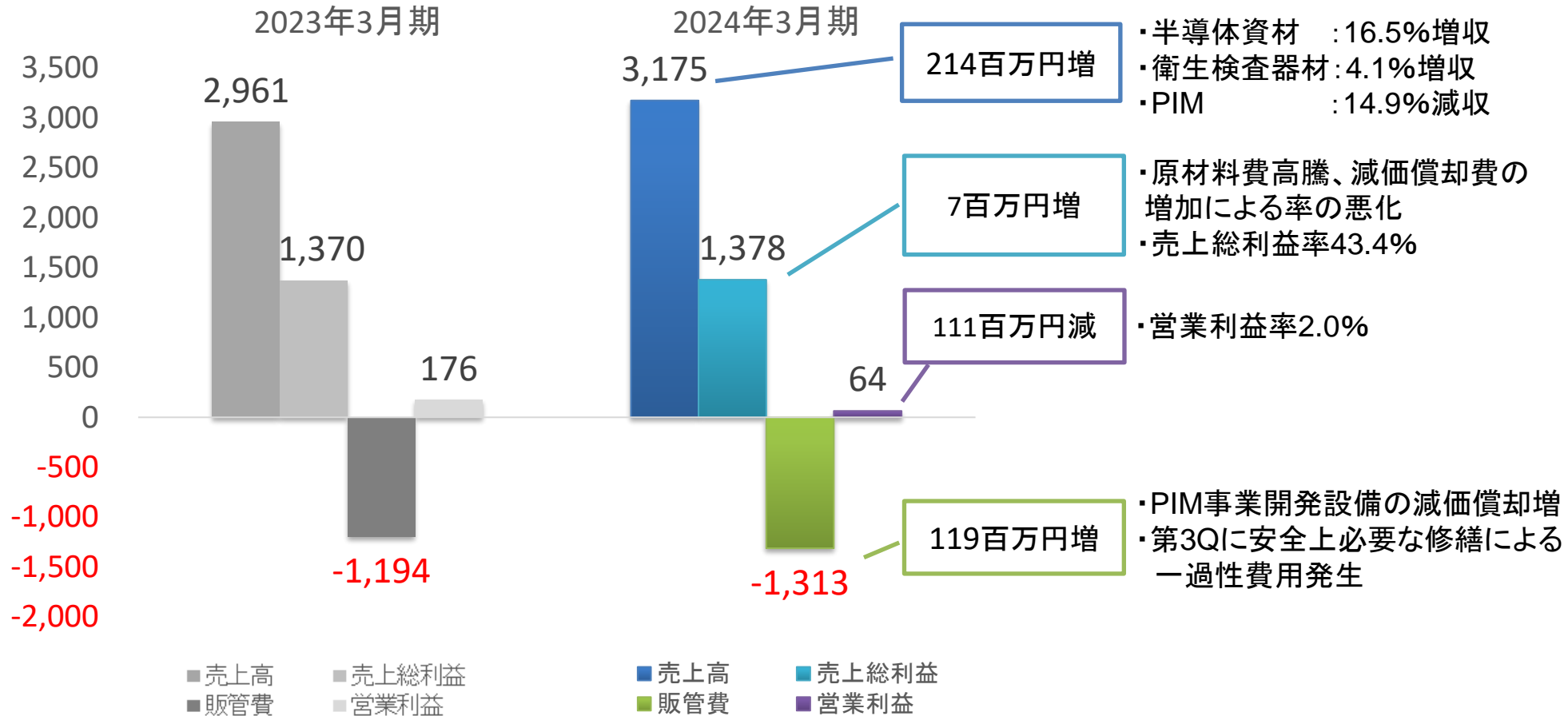
(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	2,961	3,175	7.2%
売上総利益	1,370	1,378	0.5%
	46.3%	43.4%	
営業利益	176	64	▲63.4%
	5.9%	2.0%	
経常利益	193	78	▲59.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	-244	-

- 衛生検査器材事業の売上高は創業以来過去最高を更新
- 半導体資材事業は大幅に回復
- PIM事業は自動車部品及び高機能部品の不調により減収減益

2024年3月期収益サマリー

(単位:百万円)



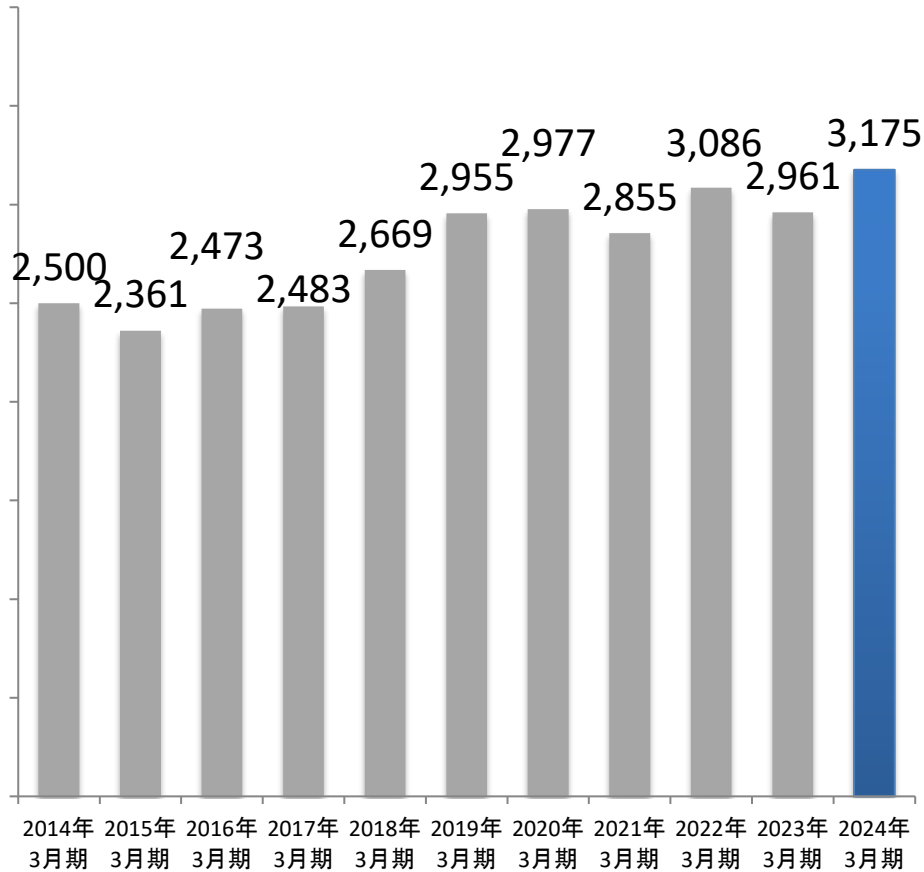
資源高や減価償却費の増加により原価率が悪化、214百万円の増収に対し、売上総利益は7百万円増にとどまった

PIM事業開発設備の減価償却費等による販管費増加により、営業利益は111百万円減少

全社連結業績推移

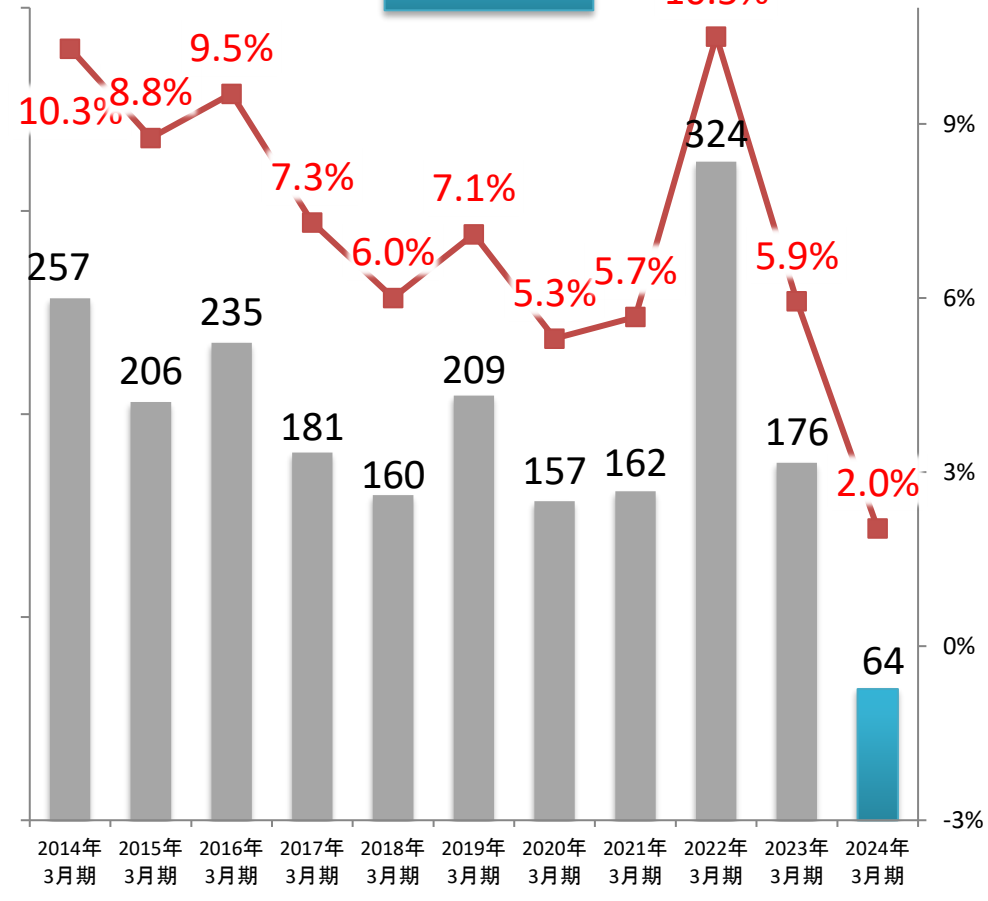
(単位:百万円)

売上高



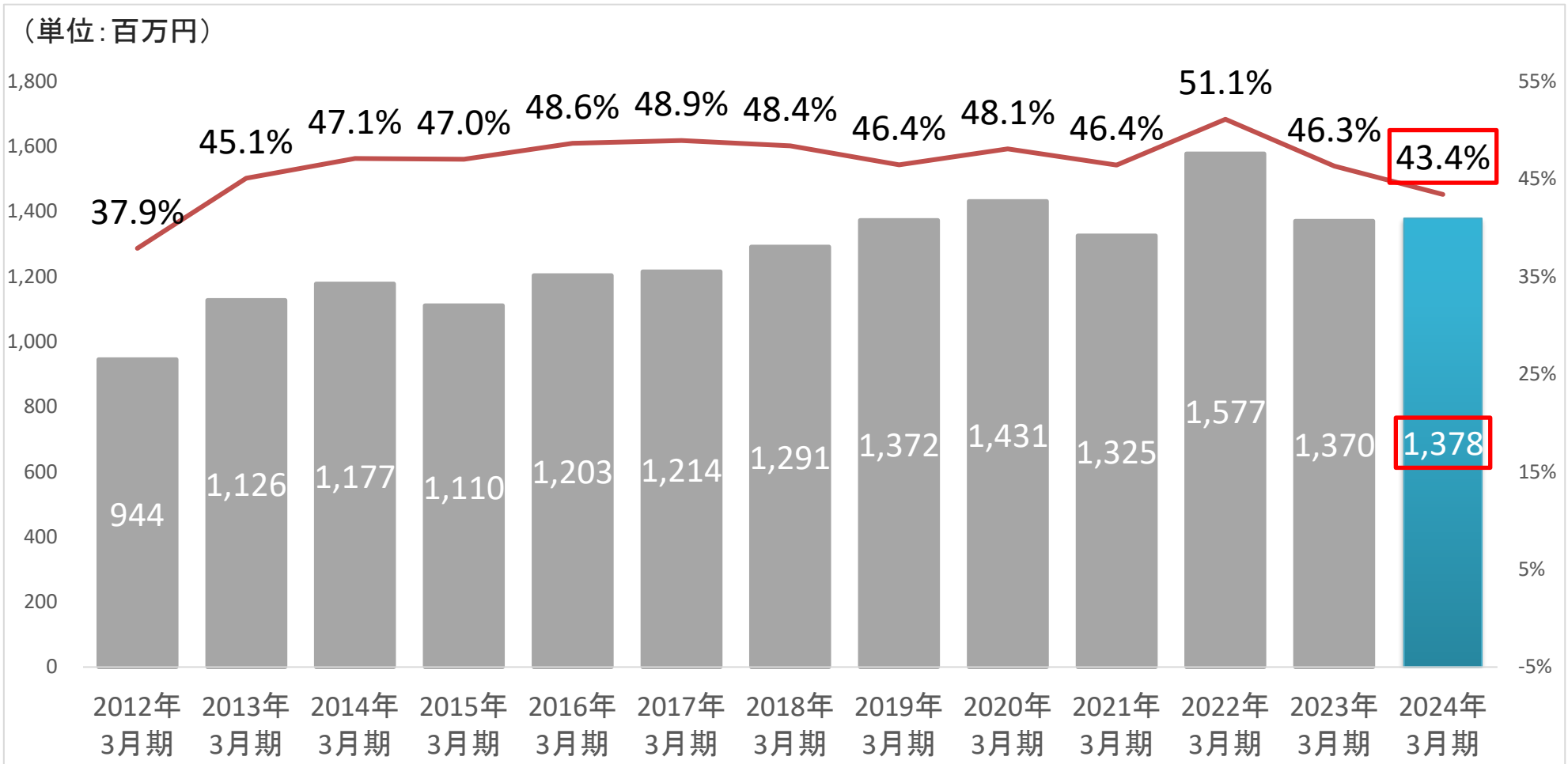
(単位:百万円)

営業利益



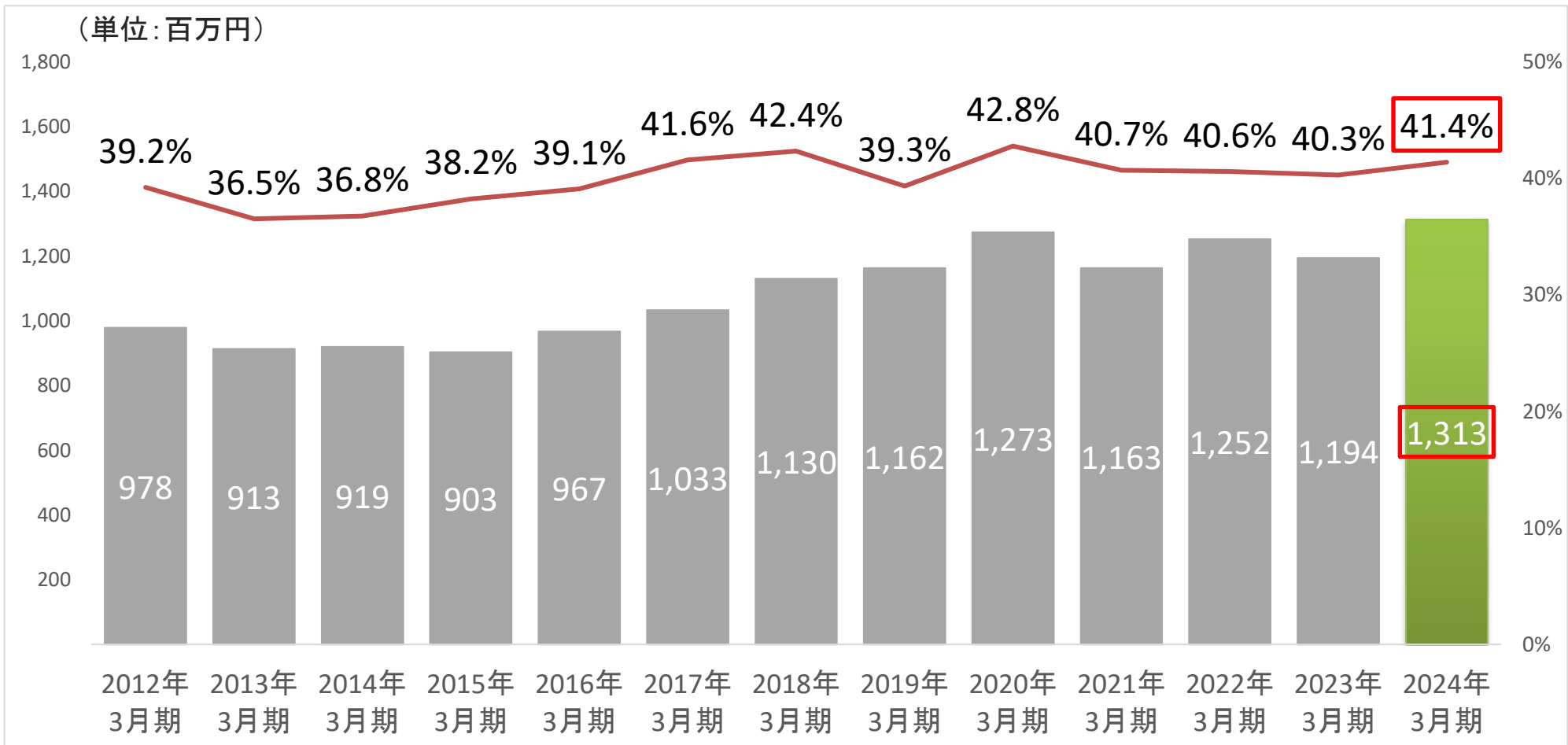
半導体資材事業の回復により売上高は回復したが、原材料の高騰や減価償却費の増加により営業利益は大幅に減少した

売上総利益推移



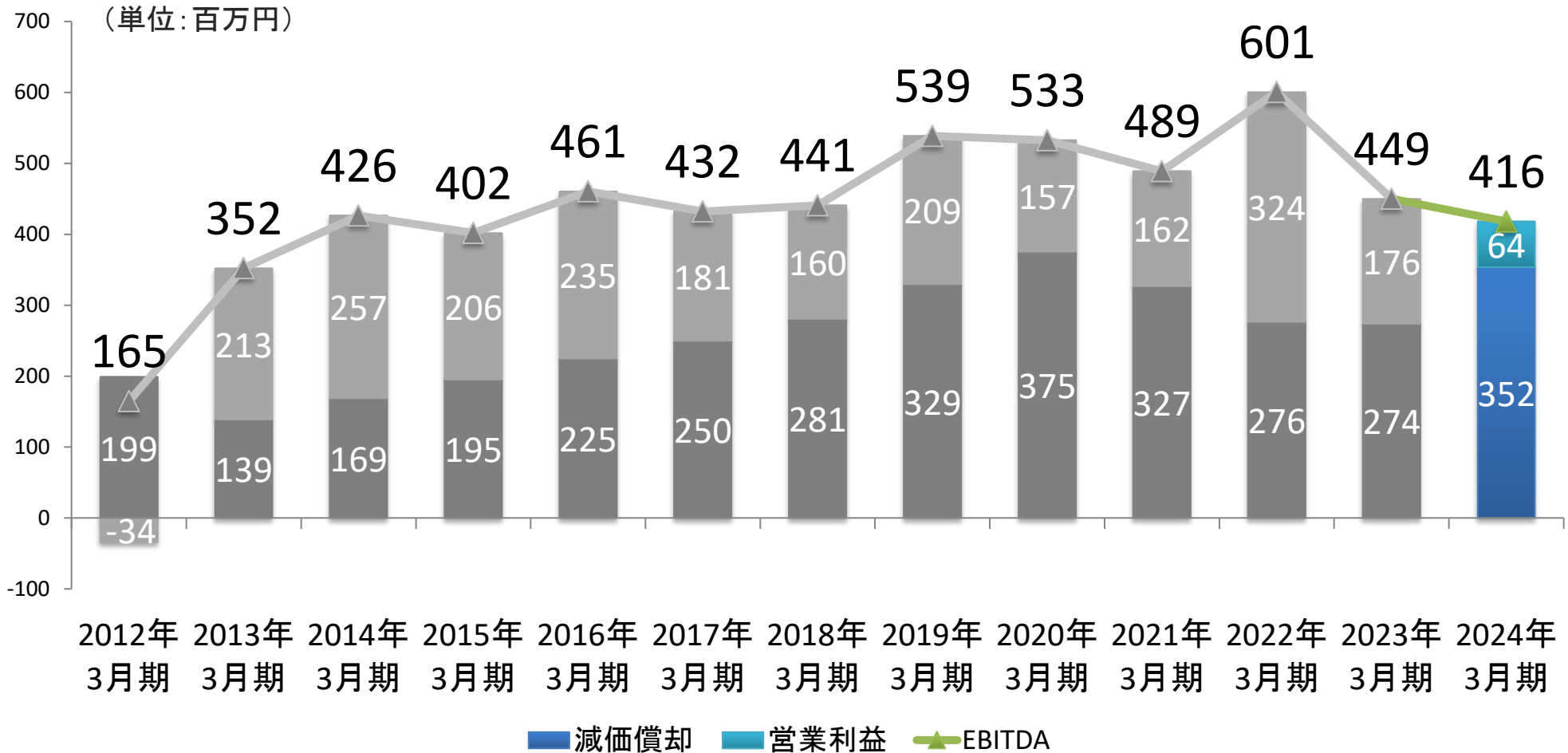
原材料の高騰、衛生検査器材事業関連の減価償却費の増加により
売上総利益率は悪化

販売管理費推移



PIM事業開発設備の減価償却費や第3Qに安全上必要な修繕による一過性費用発生により販管費は増加

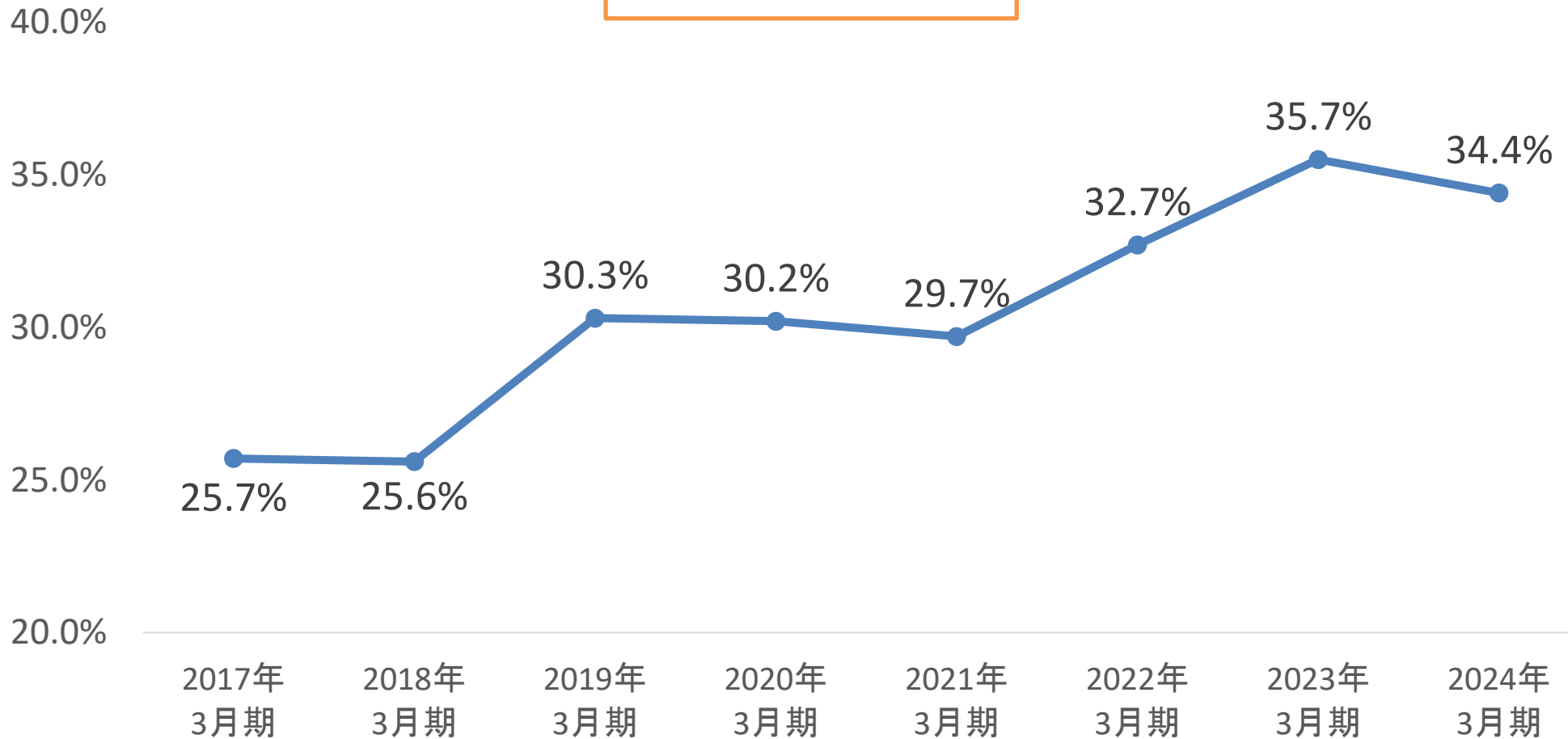
EBITDA: 企業収益力



衛生検査器材事業、PIM事業において減価償却費が増加したが、材料費の高騰等により営業利益が減少したことによりEBITDAは減少

財務健全化

自己資本比率推移



PIM事業における減損により自己資本が減少

各事業の現況と今後について

1. 半導体資材

- ①前第3四半期連結会計期間に在庫調整により大幅に減少していた液晶パネル需要が回復し、出荷数量は前期比14.0%増となり**大幅な増収**
- ②TV販売台数が横ばいであることからサプライチェーンの動向について引き続き精査

2. 衛生検査器材

- ①インバウンド需要の復活に伴い外食需要はコロナ禍以前を上回る状況は**好調に推移**
- ②内食・デリバリー及びテイクアウト需要による当事業の主たる顧客の販売も**同様に伸長**
- ③シャーレ製品においてはN-NOSE(がん検査)用シャーレの受注に関する**堅調に推移**
- ④新製品として簡易型微生物検出用培地「aS-Medium」の販売を開始
- ⑤シャーレの主原料であるPS(ポリスチレン)材価格の高止まりに伴う**販売価格引き上げの実施**

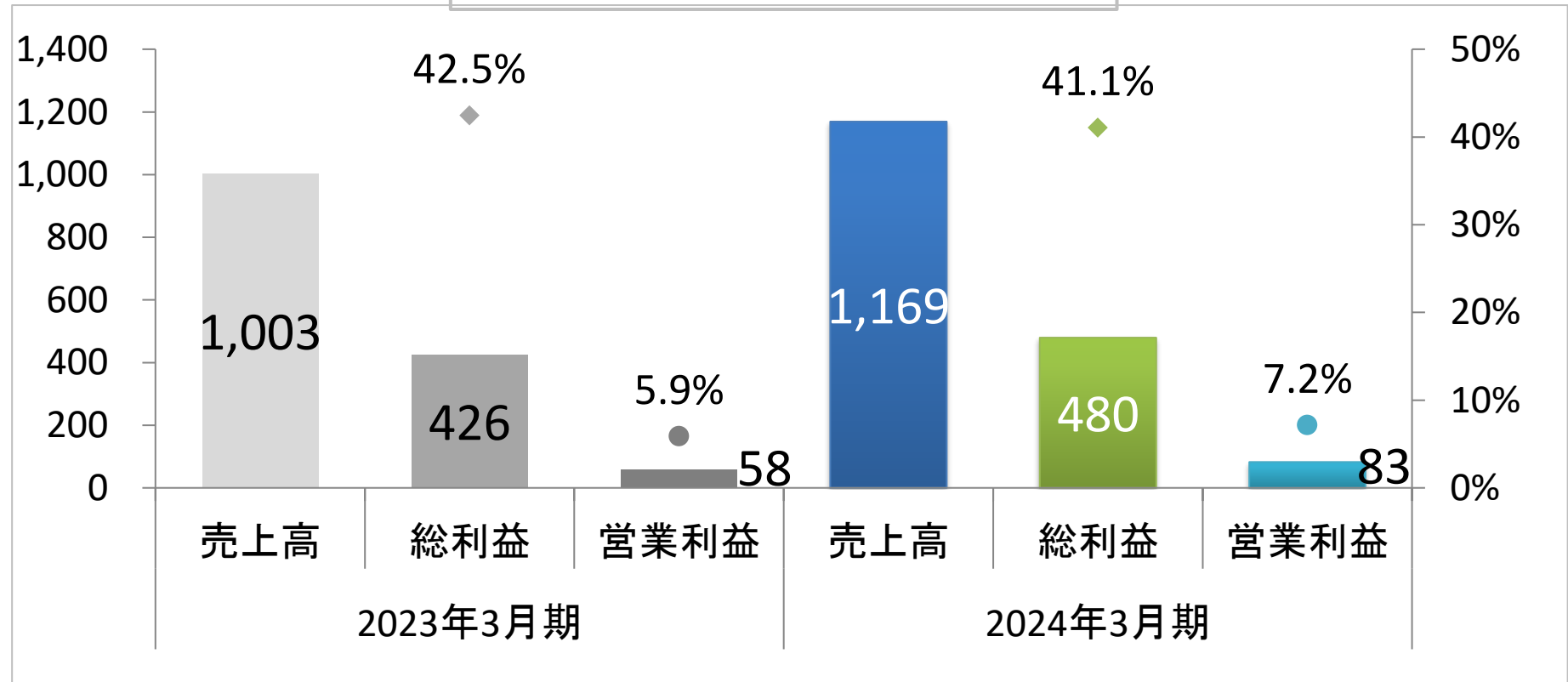
3. PIM

- ①自動車用ターボ部品の製品の仕様変更による受注の減少が継続したことに加え、設備投資市場の減速により高機能部品の販売が奮わず**減収**
- ②PIM事業においては、第1四半期連結会計期間からの自動車用ターボ部品の開発・量産設備にかかる減価償却費の増加により、PIM事業単独では**営業損失**

1. 半導体資材事業

(単位:百万円)

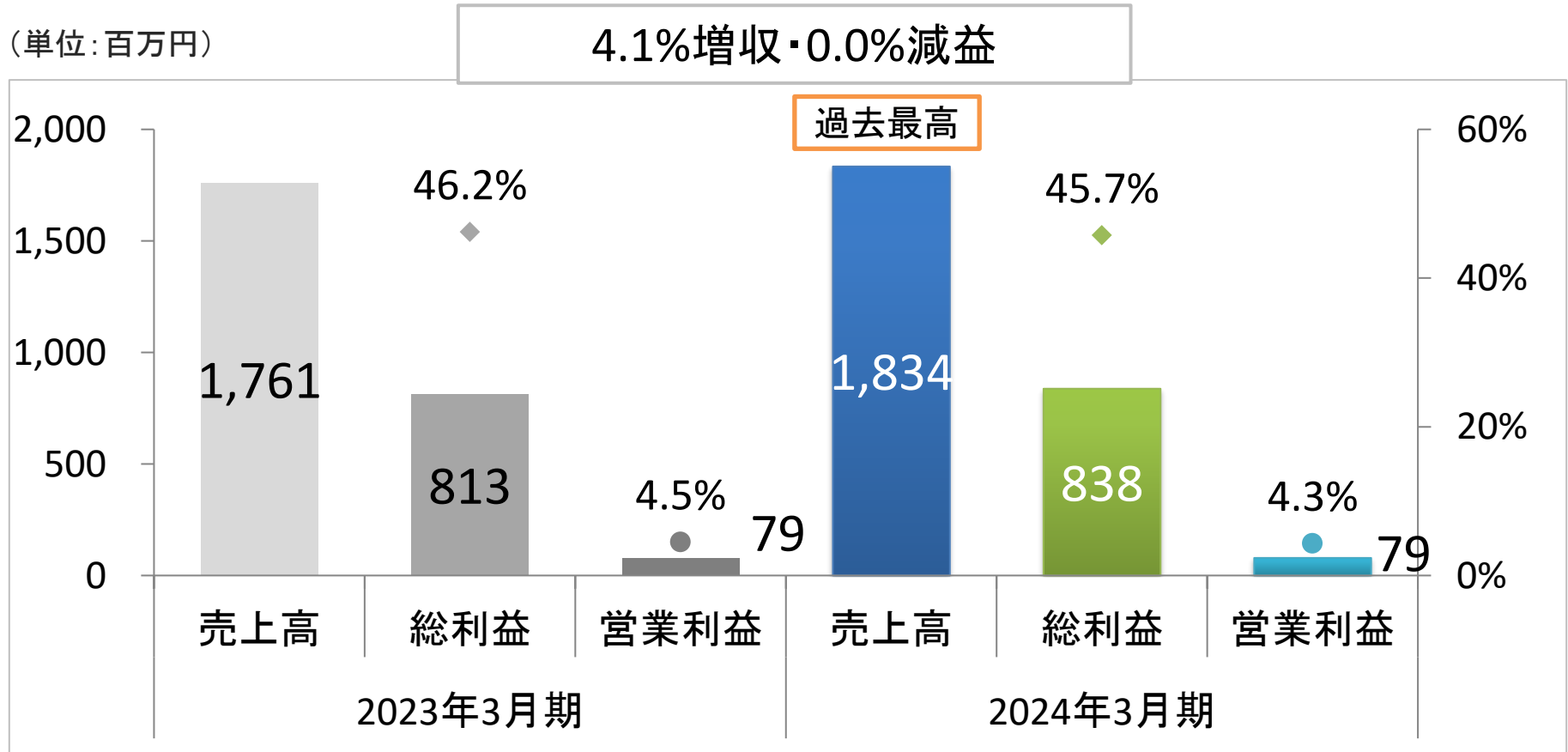
16.5%増収・41.9%増益



●通期販売数量は前期比14.0%増

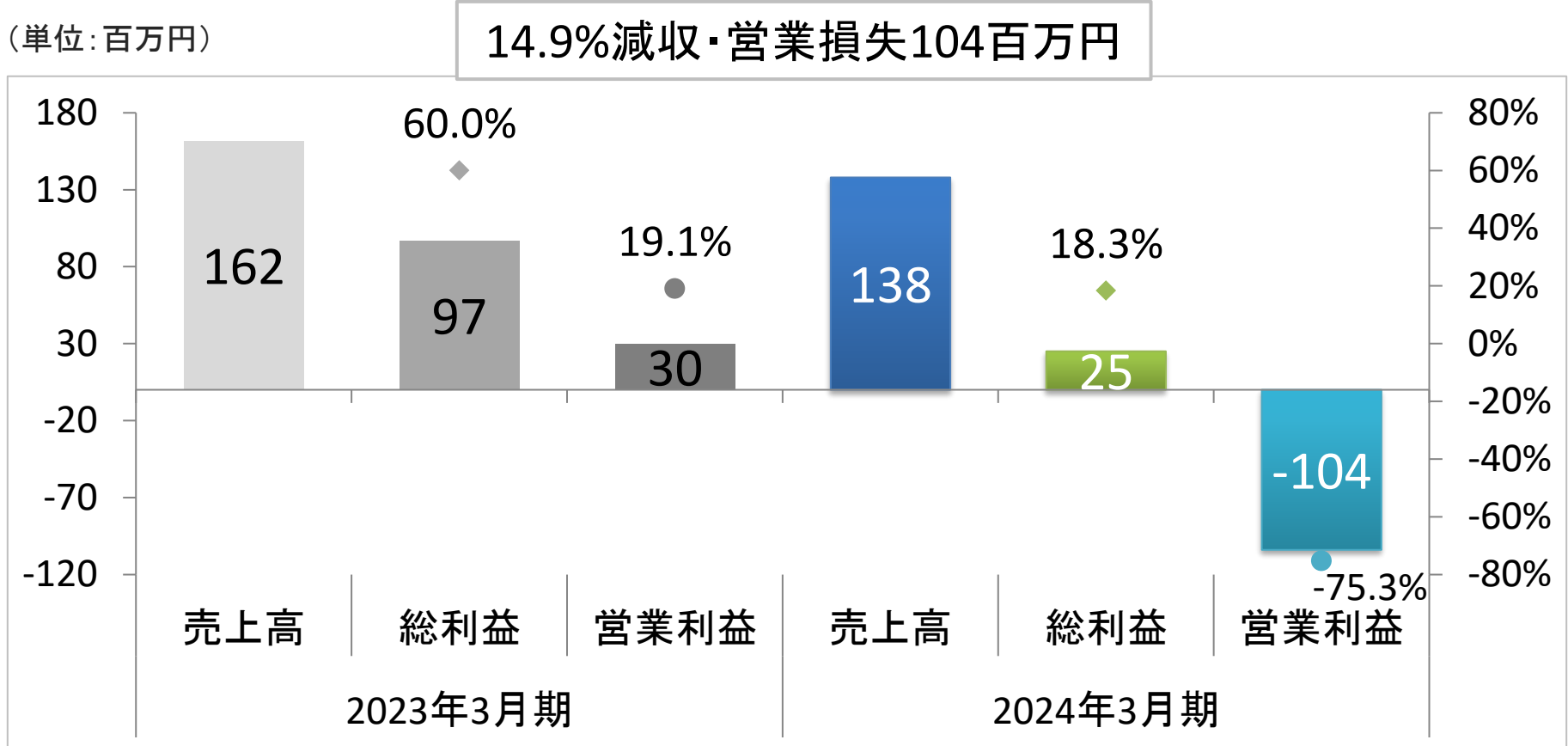
●TV販売台数が横ばいであることからサプライチェーンの動向について引き続き精査

2. 衛生検査器材事業



- 売上高は過去最高を更新
- PS(ポリスチレン)材の価格高騰の影響により、売上総利益率は悪化
⇒販売価格の引き上げを継続して実施

3. PIM事業



- 自動車用ターボ部品、高機能部品共に販売は低調に推移
- 自動車用ターボ部品の開発・量産設備にかかる減価償却費が増加

2025年3月期（第56期） 業績見通しについて

2025年3月期事業計画

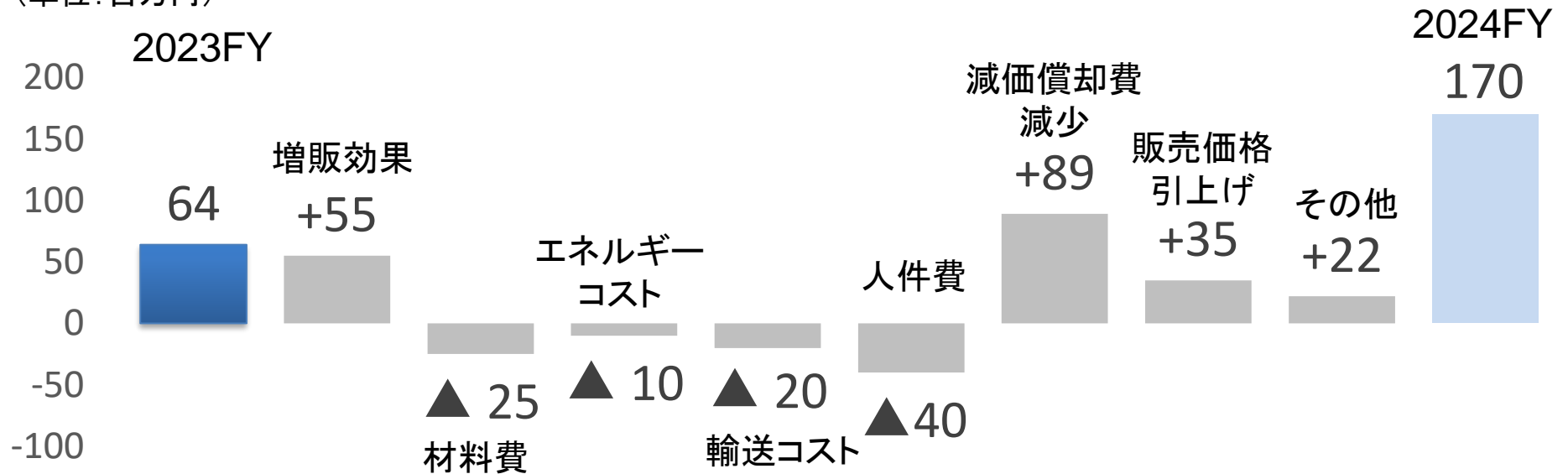
(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減率
売上高	3,175	3,300	3.9%
営業利益	64	170	163.5%
	2.0%	5.2%	
経常利益	78	150	90.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲244	100	—
配当予想	10円	10円	—

- 売上高は中期経営計画(VISION25/30)達成に向けた成長を継続
- 原材料・エネルギーコストの高騰の影響は継続する見込み
- PIM設備の減損により減価償却費は減少し営業利益は163.5%増益の見込

2025年3月期収益見込分析

(単位:百万円)



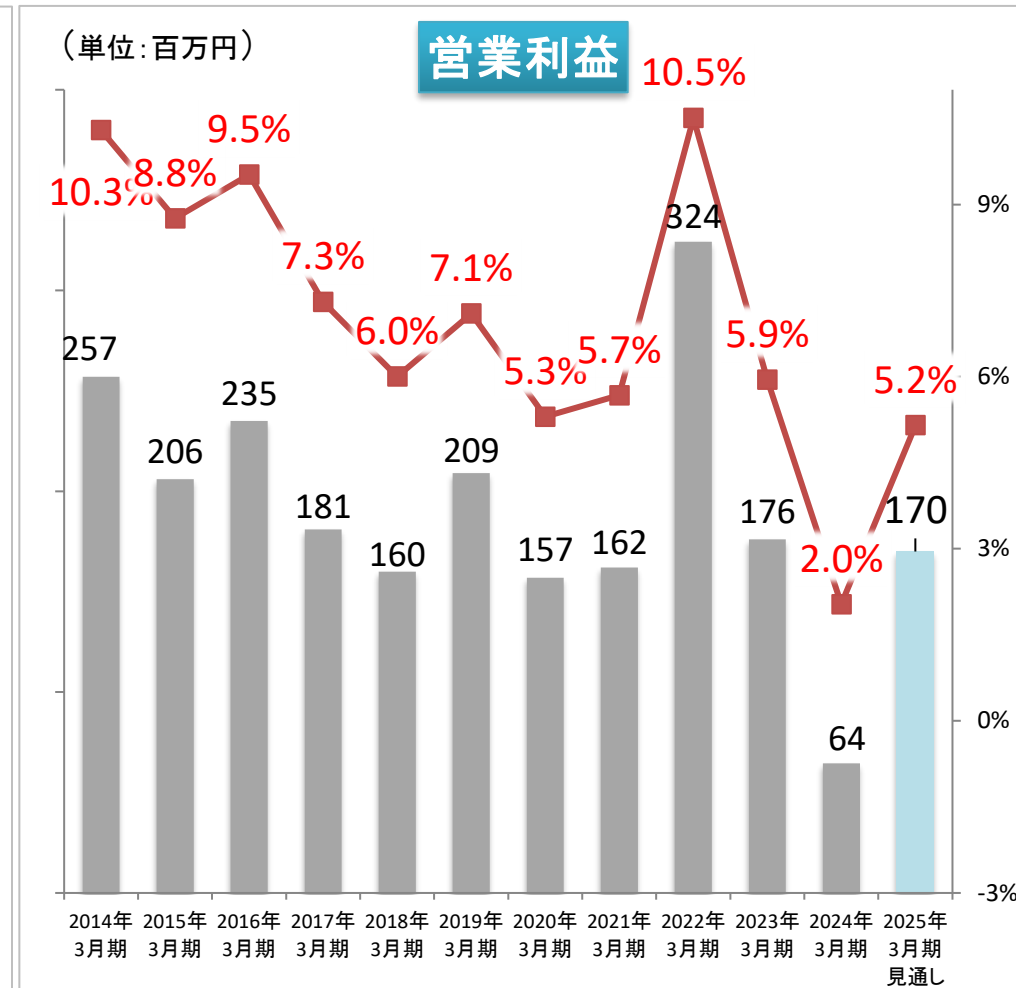
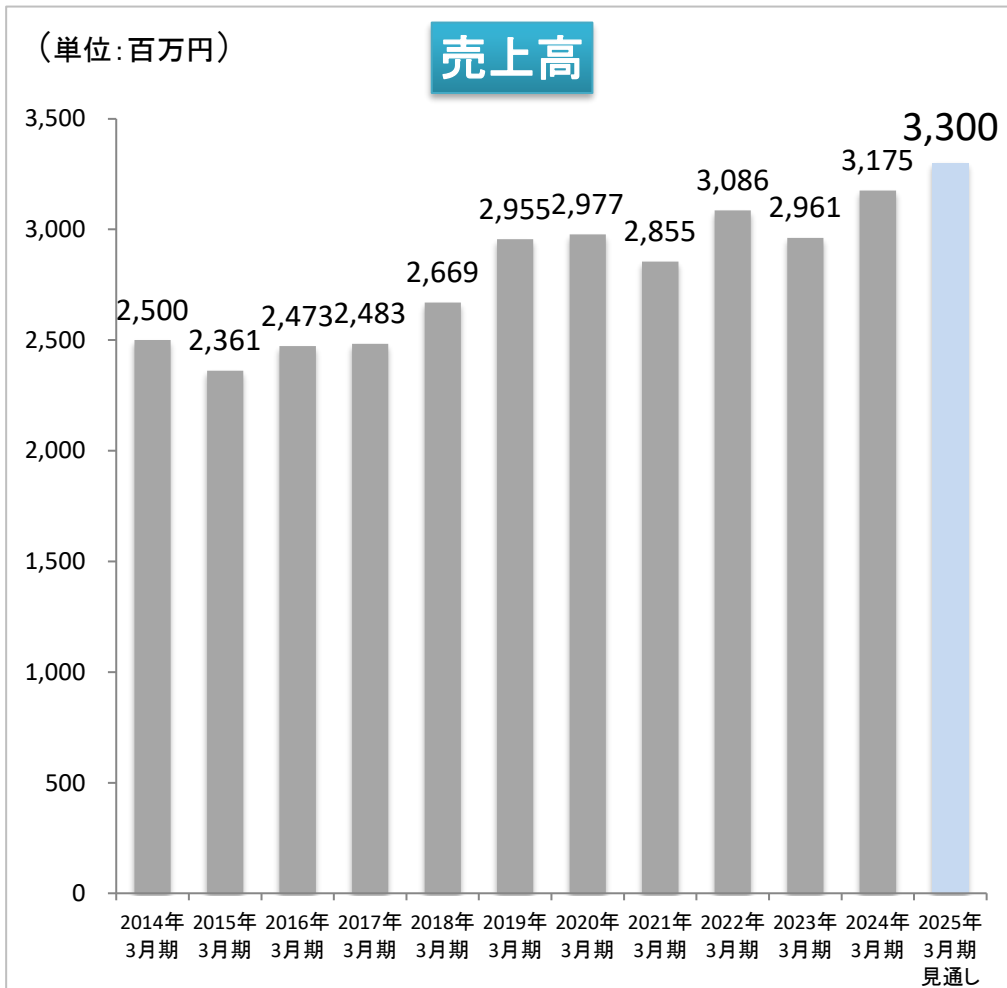
プラス要素

- ・大幅な増販効果
- ・販売価格の見直しによる効果
- ・PIM設備の減損による減価償却費減

マイナス要素

- ・原材料費、エネルギーコスト等の高止まり継続
- ・人員の増強、賃上げ対応等による人件費の増加

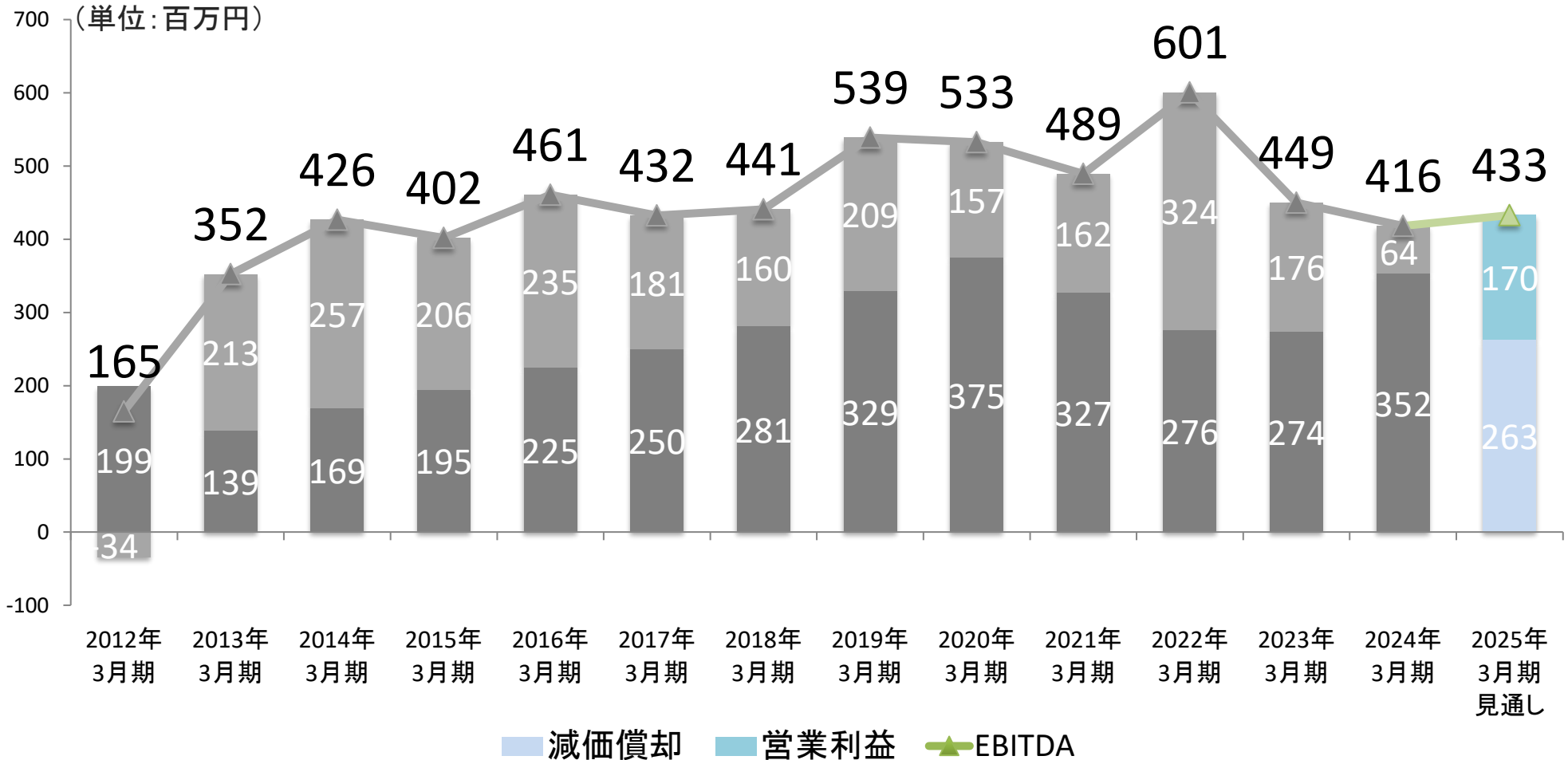
全社連結業績推移



売上高は確実な成長を目指す

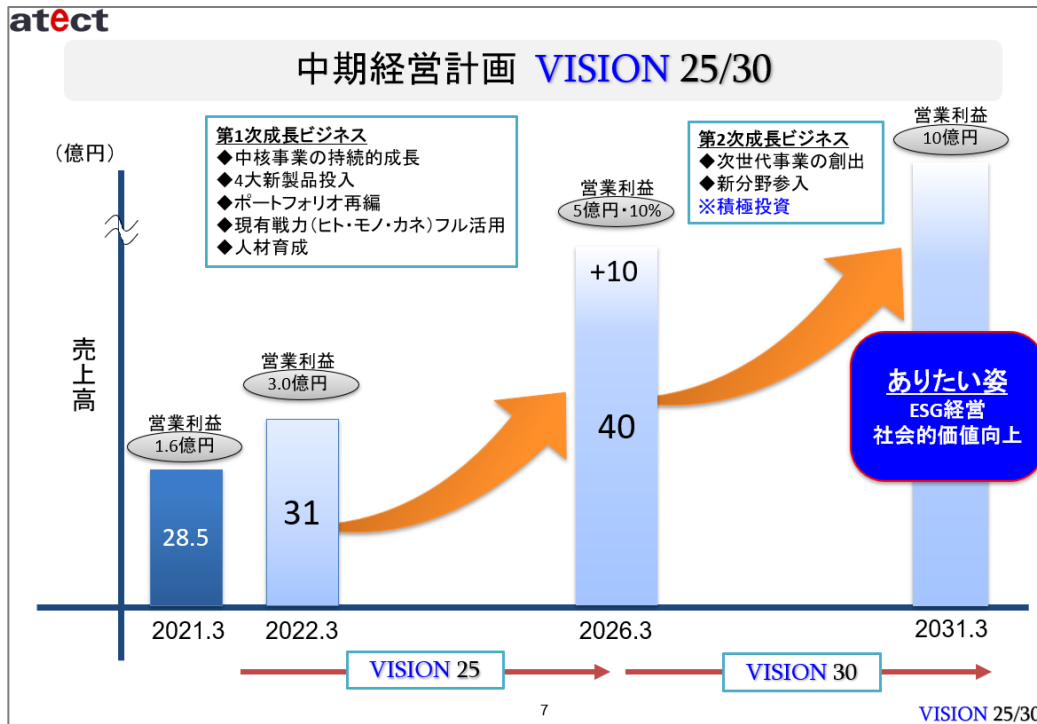
材料費・エネルギーコストの高騰は継続
減価償却費の減少により営業利益は回復

EBITDA: 企業収益力

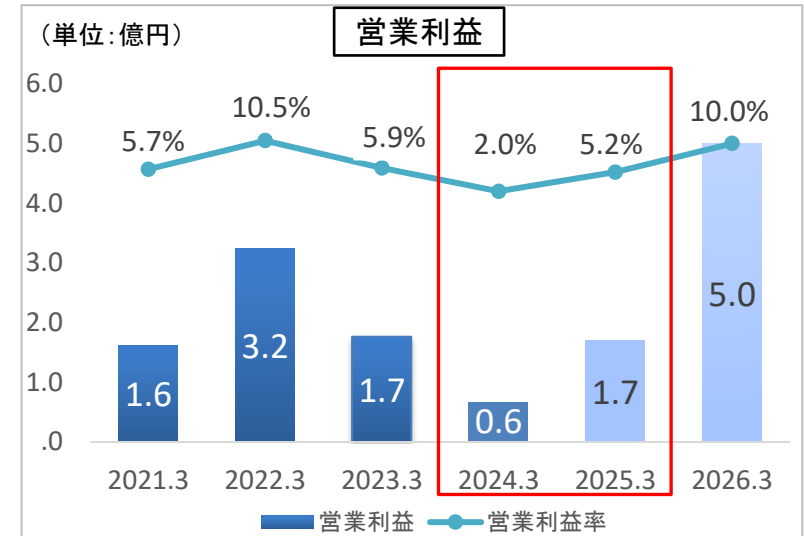
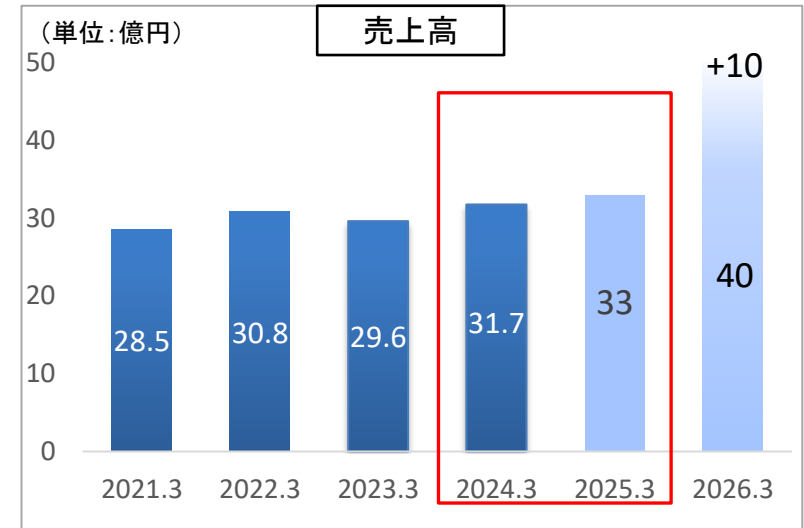


減価償却費は減少するが、営業利益の回復によりEBITDAはやや増加

中期経営計画 (VISION 25/30) 進捗



3次年度の結果と4次年度の見込



売上高

PIM事業・衛生検査器材事業の安定的成長と半導体資材事業、PIM事業の復調により成長路線への回帰を目指す

営業利益

世界的なインフレによる材料費、エネルギーコスト等の高騰の影響を引続き精査

2025年3月期事業別アクションプラン

1.半導体資材事業

- ①変化する需要に対応したフレキシブルな生産体制
- ②COF (Chip on film)用途以外へのスペーサーテープの拡販活動
- ③製造原価の改善による更なる高収益体質の確保

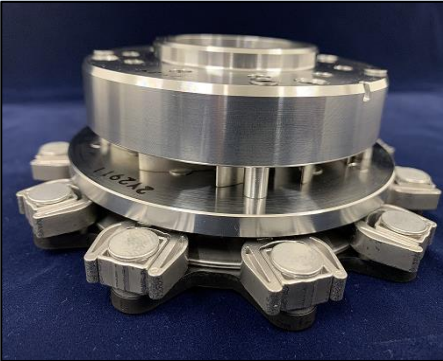
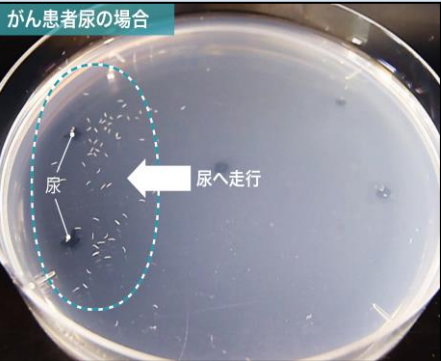
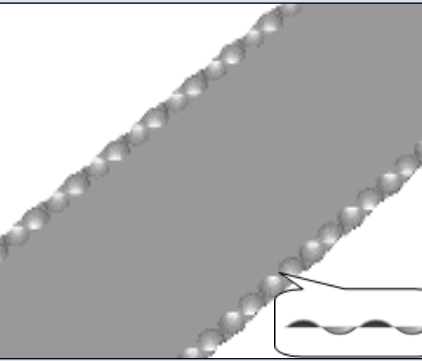

2.衛生検査器材事業

- ①アフターコロナに対応した営業活動・生産体制
- ②aS-Mediumの拡販による売上増加
- ③生産設備の計画内稼働率100%化による生産性の向上
- ④本社と5営業拠点(東京・大阪・福岡・静岡・仙台)からのきめ細かな販売体制

3.PIM事業

- ①自動車用ターボ部品と高機能部品の販売回復による売上回復
- ②高機能部品の新規受注による売上拡大
- ②全生産品のOnePass率95%以上の工程品質確保
- ③自動車の電動化を見据えたセラミックス製品の製品化に向けた性能の向上

4大新製品立上げ進捗及び今後の対応

	 <p>がん患者尿の場合 尿へ走行</p>		
<p>ターボ部品</p>	<p>がん検査用シャーレ</p>	<p>ハイエンドテレビ モニター用 両山スペーサーテープ</p>	<p>FM-Plate⇒aS-Medium (簡易型培地)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●製品仕様変更の為、一時的に出荷量が減少 ●一部仕様が固まりつつあり、評価が完了し次第出荷再開予定 	<ul style="list-style-type: none"> ●HIROTSUバイオサイエンス向けシャーレの増販継続 ●専用ライン稼働開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●主力製品のひとつとして販売を継続中 <p>※FHDに対する消費量 4Kテレビ: 2.7倍 8Kテレビ: 4倍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザビリティを重視した新仕様として『aS-Medium』を上市 ●AOAC認証取得済 <p>※AOAC: 食品・医薬品・化粧品等の分析に関する国際認証</p>

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL: 0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp